

オーシャンアイズの源流は、2010年に始まった「温暖化に伴う漁場や水産資源量の変動の推定、その適応策に必要な情報提供のための技術開発」を目的とした気候変動適応研究推進プログラム（REGCA）と、2016年に開始した科学技術推進機構（JST）の「FishTechによるサステナブル漁場モデルの創出」を目指した戦略的研究推進事業（CREST）です。

これらのプロジェクトで開発した技術やノウハウを基盤に、海洋水産ビッグデータから高精度な「海の天気予報」を提供する技術や、好漁場を見つけ出す技術を社会実装することを目的として、京都大学とJAMSTEC（国立研究開発法人海洋研究開発機構）の研究者によって、株式会社オーシャンアイズは創業されました。わたしたちは漁業者や行政、海洋産業に有益な海況情報を提供することで、持続可能な海洋・水産業の実現を目指しています。



### 会社概要

設立 2019年4月1日  
代表取締役 田中裕介



🏠 京都本社  
〒604-8155  
京都市中京区占出山町 308番地 山忠ビル26号室

🏠 東京オフィス  
〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町3-27-1 大洋ビル402

お問い合わせ  
🌐 [oceaneyes.co.jp](http://oceaneyes.co.jp)  
✉ [info@oceaneyes.co.jp](mailto:info@oceaneyes.co.jp)



公式LINE  
@884ooqmy



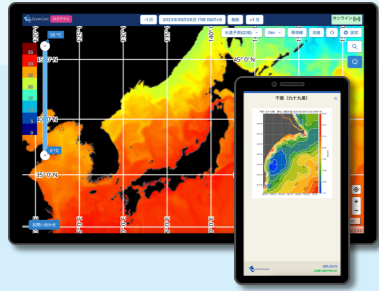
# Ocean Eyes

株式会社オーシャンアイズ  
Ocean Eyes Co., Ltd.

**Visualize the future of the ocean**  
「透明な海」をつくることで  
人が主体的に活動できる海にする



### 漁場ナビシリーズ



漁場探索・操業可否判断に有用なデータをインタラクティブなマップに表示するパッケージサービス「漁場ナビ」シリーズ

船団や長期での操業の計画立案に便利な遠洋・沖合向けの「漁場ナビPro」、沿岸での効率的な操業をサポートする「漁場ナビスタンダード」をそれぞれ展開中です。

### ブルーカーボン分野への応用

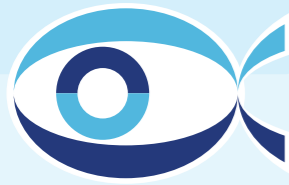
オーシャンアイズの海況予測や画像解析の技術を藻場の適地推定や藻場形成の再現など、ブルーカーボンの分野で役立てることができないか挑戦しています。



## 最先端の技術を素早く社会実装

最先端の技術を用いた「海の天気予報」とも言えるリアルタイム海況情報を、漁業者だけでなくさまざまな海洋活動に役立て、“漁業者にも地球にも持続可能な漁業”の実現を目指します。

### SEAO ME



自治体や企業向け海況予測システムのカスタマイズ開発サービス「SEAO ME」

独自モデルの予測データや、船舶などからの収集データを統合解析し、用途に応じたデータを表示する海況情報発信の総合プラットフォームとしてご活用いただけます。

### 海外展開

水産業の発展著しい島しょ国や沿岸諸国に向けて、海況データの提供やデータ活用のノウハウの共有など、海洋データを利用した効率的な海洋活動への貢献を目指しています。

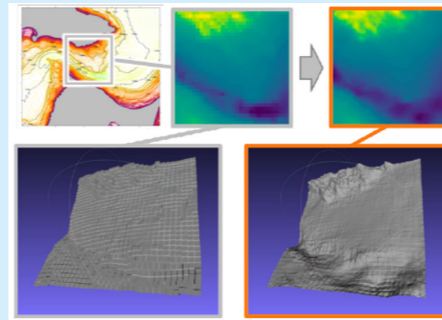


### AI技術の応用

オーシャンアイズでは、海洋分野の知見とAIに関する専門的な技術の両方を合わせ持っています。



海洋分野へのAI技術の応用としては、すでに実地試験を始めている海況情報や漁獲データを利用した好漁場の推定や、魚種識別・魚体カウント技術の開発、少ないデータから詳細な海底地形図を作成する技術の開発など、さまざまな可能性が考えられます。



### 衛星データ活用

衛星画像データから独自のパターン解析技術などを用いて海洋環境の把握に役立てています。



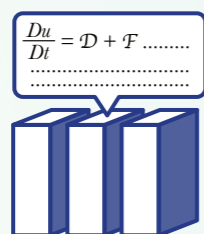
「漁場ナビ」シリーズで提供している「雲除去」海面水温がその代表です。

このほかにも新技術の開発や新規事業開拓に取り組んでいます。海洋環境データの利用に関する課題をお持ちの方はぜひご相談ください。

## サステイナブルな水産業を実現するオーシャンアイズの技術群

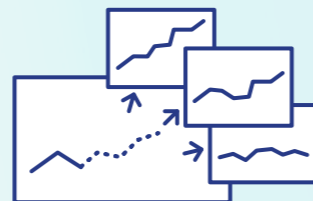
### 海洋シミュレーション技術

スーパーコンピュータを利用して独自の日本沿岸海洋数値シミュレーションモデルを日々計算し、高解像度な海況予測データを提供します。



### 長期将来予測技術

高解像度化した独自の海洋数値モデルを用いて、複数の起こりうるシナリオの長期予測シミュレーションを行い、データベースとして蓄えます。



### 海況パターン解析技術

気象衛星が観測したデータで作成された表面海水温画像から、深層学習により高速で雲に覆われた部分のデータを復元し、いち早く等温線図を作成できる技術を開発しました。



### 好漁場推定技術

漁獲データと海水温分布のパターン認識を行うことで、ベテラン漁師の能力を模倣し、良く獲れる漁場を推定する技術を開発しています。

